

バックオフィス業務改革

総務DX：業務効率化 & 従業員満足度向上 & ガバナンス強化の実現

SAP Concur

バックオフィス業務改革は、単なるIT導入ではなく、企業全体のオペレーショナル・エクセレンスを追求し、データドリブン経営を実現するための重要な取り組みです。総務、人事、経理、調達購買といった部門の業務プロセスを標準化・効率化し、自動化を徹底することで、手作業や属人化された作業を極力最小化します。

従来の固定的なオフィスへの出勤から、多様な働き方に選択可能となったことで、通勤定期券の配布を廃止し、個人立替をコーポレートカードや交通系ICカード決済とし、申請入力の負荷低減、マルチデバイス対応により、隙間時間を活用した申請・承認業務が可能となり、従業員満足度も向上。身近な経費精算でDXを実感できます。



“経費精算をなくす” 経理・総務DXの実現

ビジネス環境は常に変化しており、新しい技術や市場の変化、法律や規制の変更などが起こります。ビジネスモデルを変革することで、これらの変化に対応し、競争力を維持することができます。

バックオフィス業務でも、これら変化に対応すべく、データドリブン経営の実現に向けたデータの可視化、そして業務効率化・自動化を行うことで、従業員にとって身近な経費精算領域でDXを実現しませんか。



業務効率化
働き方改革



経費の可視化
チェック機能強化



コスト最適化



グループ・
グローバル標準化

SAP Concurの特長

SAP Concurは世界での市場シェア48%(出典：IDC)、利用者数は世界9300万人が利用する間接費管理クラウドです。
日本法人は2010年の設立以来、様々な業種のお客様に利用されており、2024年には日本データセンターも開設されています。



キャッシュレス
(現金をなくす)



入力レス
(入力をなくす)



ペーパーレス
(紙をなくす)



承認レス
(承認をなくす)



不正レス
(不正をなくす)



運用レス
(運用業務をなくす)

SAP Concur導入によるお客様のメリット

SAP Concurを導入することによって経費の管理が容易になり、従業員の負担軽減につながります。また、経費の支払い先や金額などが正確に管理されるため、法令遵守が容易になり税務署や監査機関からの指摘を受けるリスクが低くなります。



申請者

- 手入力、紙領収書を削減
- いつでもどこでも経費精算
- 立替負担の軽減



経理部門

- ミスや規程違反確認を省力化
- 紙のファイリングからの解放



経営者

- 適切な経費利用を確認
- 不正リスク削減

• SAP、SAPロゴ、記載されているすべてのSAP製品およびサービス名はドイツにあるSAP SEやその他世界各国における登録商標または商標です。またその他の商標情報および通知については、<https://www.sap.com/copyright> をご覧ください。
• 本資料に記載されているシステム名、製品名等には、必ずしも商標表示（（R）、TM）を付記していません。

富士通コンタクトライン 0120-933-200

受付時間：9時～17時30分（土・日・祝日 当社指定の休業日を除く）

